

医療法人さくら サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 11 月 28 日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

企 業 名	医療法人さくら	
代 表 者 名	理事長 井尻 学見	
所 在 地	ホームケアクリニック麻生 札幌市北区北 23 条西 2 丁目 1-1	
ホームページ	https://homecare.clinic/	
従 業 員	49 名 (2025 年 8 月現在)	
業 種	医業(内科・緩和ケア内科・小児科・リハビリテーション科・歯科)	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">・ 訪問診療、訪問歯科、訪問リハビリテーション・ オンライン診療(月～金 9:00-17:00)・ 予約外来(月 9:00-12:00)	
沿 革	2023 年 2 月	札幌市北区北 38 条西 4 丁目にて開院 訪問診療、訪問リハビリテーションを開始
	2025 年 4 月	現住所にクリニック移転
	2025 年 10 月	法人化し『医療法人さくら』設立
	2025 年 11 月	歯科部門を開設

2. 経営理念・想い

人に感謝し、人を尊敬し、人を尊重し、～人とつながり、人と生きてゆきます～

医療法人さくらは、『人に感謝し、人を尊敬し、人を尊重し、～人とつながり、人と生きてゆきます～』という理念のもとに、診療・職場環境・周辺地域の三方をより良くするための事業運営を心がけている。また、『その人の人生はその人のものである』をモットーに、患者さんとそのご家族がクリニックとともに歩める“伴走型”の診療を目指すとともに、ただ一度診る医療ではなく、長期的に患者さんに関わりを持つことで“暮らし全体を支える”医療を目標としている。

診療部門とリハビリテーション部門の連携強化および職場環境の見直しのため 2025 年 4 月にクリニックを移転したことを契機に、『よい医療は、よい職場から生まれる』との想いから、スタッフ全員が快適に働ける空間づくりに注力した結果、2023 年 2 月に 6 名体制でスタートした本事業が、現在では非常勤も含め約 50 名のスタッフが活躍するクリニックへと成長している。今後も従業員満足度・業務効率化の向上により、さらに質の高い医療を届け、ステークホルダー(患者さんとそのご家族、地域の皆さま、医療従事者)に貢献していく方針である。



井尻 理事長

3. 事業概要

診療科目は内科・緩和ケア内科・小児科・リハビリテーション科・歯科である。開業以来、訪問診療・訪問リハビリテーション・オンライン診療をメインに展開してきたが、2025 年 11 月には訪問歯科診療も開始している。また、『機能強化型在宅療養支援診療所』としての認定を受け、在宅療養を希望する方・人工呼吸器・在宅酸素療法・がん終末期の方も安心して受診できる体制を整備している。加えて、専門医師の複数配置により 24 時間 365 日の訪問診療体制を確立することで、在宅医療が直面する急変・看取りといった場面にも対応し、患者さんとそのご家族にとって気軽に相談できる環境を提供している。

■ 訪問診療の様子



出所：医療法人さくら 提供資料

・『その人の人生はその人のものである』のモットーに基づく診療体制

上記の在宅・訪問医療により、患者さんの“住み慣れた場”での診療・ケアを実現している。また、定期訪問診療を原則月 2 回と定め、患者さんとの継続的な関わりを維持するなど“その場限りではない人生のパートナーとしての医療”を大切にしている。加えて、各分野の専門性を備えた医師・看護師・リハビリ職・歯科・事務スタッフが一体となり『チーム医療』を実践しており、スタッフ同士が意見を出し合い、患者さんの生活・希望・価値観を尊重した診療方針を検討・実践している。

・地域包括ケアシステムの課題解決に繋がるモデル

厚生労働省は、急速な高齢化にある日本において、『住み慣れた地域・自宅で暮らし続ける』体制（地域包括ケアシステム）の構築を政策の柱と捉えており、在宅医療の整備・普及を国策として後押ししている背景がある。また、訪問医療の提供は家族介護者の負担軽減や介護離職の抑止、そして医療資源（大病院のベッド）の留保効果もあるほか、在宅でのリハや歯科を含めた包括ケアは合併症の抑制や複数回の救急受診を防ぎ、地域医療費の効率化にも寄与する。[※]

医療法人さくらが提供する『訪問診療・リハ、歯科のワンチーム医療』は、在宅支援を行うモデルとして“地域包括ケア”の理念そのものであり、まさに地域医療の重要な担い手といえる。

[※]参考文献：厚生労働省 HP「地域包括ケアシステム」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/index.html（最終閲覧 2025 年 11 月 26 日）

4. スタッフが働きたい場所であるために

医療法人さくらでは、『学び、成長できる環境』『助け合いの文化』『フレキシブルな働き方』を追求している。

『学びの環境』の一例として、週 1 回の勉強会では、診療に関することだけでなく手洗いや駐車ルールなど日常の細部における学びを共有し、スタッフ一人ひとりの専門性とチーム力の向上を目指している。

また、スタッフの年齢層は 20～40 代が約 8 割を占めているが、出産・育児に伴う急な休み・時短勤務・育児休暇からの復帰といったライフステージの変化にも配慮した体制を構築することで、家庭を持ちながら安心して働ける職場環境の実現を重視し、子育て世代の活躍を支援している。

■ 勉強会の様子



出所：医療法人さくら 提供資料

■ 働くスタッフの声

看護師 F さん

「初めての妊娠で不安や体調が安定しない中、突然の休みにも上司から『無理しないでね』などの優しい言葉がけや、身体に負担の少ない院内業務への調整をして頂いたことで、安心して妊娠期間を過ごすことができました。」

理学療法士 A さん

「定期健診の時も休むことができ、産休・育休もしっかり取れる環境なので、とてもありがたいです。」



出所：医療法人さくら 提供資料



5. サステナビリティ目標

医療法人さくらの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、医療法人さくらの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、医療法人さくらのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

（1）環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

（2）社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	育児休暇取得率を、男性で 64%以上、女性 90%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。